

第494回

読谷村議会

3月定例会

一般質問通告要旨

通告者	18名
質問時間	30分以内
	答弁を含まず
質問方法	一問一答

第494回 読谷村議会3月定例会
一 般 質 問 通 告 者

通告順	議席番号	氏 名	備 考
1	14	上 地 榮	令和2年3月17日(火)
2	18	國 吉 雅 和	
3	12	比 嘉 幸 雄	
4	7	津波古 菊江	
5	8	城 間 勇	
6	3	大 城 行 治	令和2年3月18日(水)
7	5	上地 利枝子	
8	11	長 濱 宗 則	
9	15	松 田 正 彦	
10	13	神 谷 嘉 栄	
11	9	山 城 正 輝	令和2年3月19日(木)
12	2	仲 眞 朝 雄	
13	16	伊 佐 眞 武	
14	6	當 間 良 史	
15	4	山 内 政 徳	
16	17	城 間 真 弓	令和2年3月23日(月)
17	10	松 田 昌 邦	
18	1	與那覇 徳雄	

令和元年 第494回読谷村議会 定例会一般質問

令和2年3月17日（火）

順序	質問者	質問事項
1	上 地 榮	1. 新型コロナウイルスの感染が2月14日、県内で初めて確認されているが、その対策について ①新型コロナウイルスはどのような感染症でその治療方法は。 ②これまで村としてどのような取り組みをしてきたか。 ③施政方針では、国・県と連携して、感染拡大防止に取り組むとあるが具体的には。 ④村独自の取り組み強化策もあるか。 2. 特定家畜伝染病（CSF）豚熱対策 ①CSFの病状、感染経路、治療方法は。 ②これまで殺処分された頭数及び県内の頭数の何%になるか。又、殺処分された豚等に補償はあるか。 ③村内の養豚世帯は何世帯で養豚数は何頭か。又、村としてこれまで国・県・関連団体等と連携してどのような取り組みをしてきたか。 3. 施政方針で示された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について ①根拠はSDGsの活用にあるのか。 ②具体的にはどういうことか。 ③財源的にはどうなるか。又「読谷村ゆたさむらビジョン」との位置付けはどうなるか。 4. 新学習指導要領（小学校）とALTについて ①新学習指導要領の主な改正のポイントは。 ②ALTの採用方法と労働条件（給料、手当、休暇等）及び財源はどうなっているか。 5. 今後の診療所の運営について ①他のクリニックや介護事業所との連携に努めるとあるが、具体的にはどういう内容か。 ②訪問医療への取り組みの推進とあるが、具体的に質的に量的にどう推進していくのか。 ③診療所の新たな役割について検討するとあるが、具体的にどう現状を検証し新たな役割及び方向性を考えているか。 6. トリイ通信施設の護岸工事の進行について ①平成30年12月議会において工事費が約4億4千万円、楚辺浄化センター側は平成31年度に調査費800万円を要求しているとあったが、結果はどうなったか（工事費及び調査費）又、調査結果、当該センター側の工事費は計上されているか。

		②工事が遅れているが、工事期間は変更ないか。 7. 2019 年度のスポーツ庁による体力テスト結果について ①本県の小 5 の運動ゼロが全国最多であるとあるが本村の場合はどうなっているか。 ②本県の小 5 男女、中 2 男女とも体力テストの体力合計点が全国を下回っているとのこと、本村の場合はどうなっているか。 ③体力テストの結果が悪いのはどこに原因があるか。
2	國 吉 雅 和	1. 2 月 17 日新型コロナウイルス対策本部が設置されました。対策本部の内容と取り組みを求める。 2. 33 年ぶりに沖縄でも豚熱（CSF、豚コレラ）が発生しました。2019 年 3 月定例会（第 484 回）で豚コレラについて、一般質問を展開した議員の視点で求めます。 ①「中南部地域特定家畜伝染病防疫実動演習」と実状との相違及び役場職員の出動状態を求める。 ②豚熱発生以後の村内養豚農家の実状と行政の係りを求める。 イ) 養豚農家数・飼養頭数とこの間の実状を求める。 ロ) 搬出制限区域内（10 km）農家の 79 農場に村内養豚農家も該当するのか ハ) 養豚農家から行政への要望と防疫対策は ニ) 村内で豚熱が発生したら「読谷村が有する埋却候補地リスト」の場所で全頭数埋却可能であったか 3. 学童クラブについて 第 492 回（12 月）定例会で喜名小学校整備の後、順次読小、渡慶次小敷地内へ整備し古小は整備場所も含めて検討中との答弁でした。 ①喜名学童クラブの直近の申し込み状況と職員体制を求める。 ②令和 6 年までに公営 4 カ所、民設民営 7 カ所を整備するとの答弁でした。 イ) 3 小学校での場所・開設時期・定員数を求める。 ロ) 民設民営 7 カ所の整備計画も場所・開設時期・定員数を求める。 ③民設民営の学童クラブへの支援内容を求める。 4. 第 484 回（3 月）定例会で屋内ドーム型施設設置は「まちづくり支援事業」を活用して、新年度（令和 2 年）に概算要求していきたいとの答弁でした。進捗状況とこれまで「まちづくり支援事業」を活用した自治体と事業名・事業額を求める。

		5. 鳳バスについて ①第 492 回（12 月）定例会で利用者増に向けての提案をしました。 イ）運転免許返納者へ 1 年間無料乗車について ロ）高校生の乗車料金を 200 円から 100 円にすることについて ハ）4 月の「鳳バス利用推進月間」運動について 二）商業施設オープンに向けてのルート変更について 以上の回答を求める。 ②鳳バス車両の更新時期と更新の予定は ③運行委託先よりの課題提起はないか 6. 医療構想について 第 492 回（12 月）定例会で急性期病院（二次救急）の設置は断念し、一次救急や外来を含む有床医療施設及び介護医療機能有床施設の設置に取り組むとの答弁でした。 ①急性期病院設置断念の主な要因は ②急性期病院構想相手と今回の構想相手は同一か また、実現に向けての課題は ③村立診療所と今回の有床施設の連携はどのように図るのか ④旧読中跡地への医療施設誘致の進捗状況は
3	比 嘉 幸 雄	1. 読谷村土地開発行為の適正化に関する条例の運用について ①第 468 回読谷村議会定例会（H29、12、15）において開発許可について質問しました。当時の部長が一般質問終段において、白地が多い読谷村では開発許可の面積の引き下げ、特定用途地域、風致地区の指定更には景観法を活用し、用途白地地域の秩序ある土地利用を図るため、多様な施策の展開を図るという事で線引きはもう少し議論させていただきたい。「開発許可面積を下げるための負担に対しその開発者が負担する、負担金が高いか安いのかの議論は行っていない。用途線引き地域になると農家しか家を建てられなくなる。そういった非常に重要な案件であるため、建築士会あたりと議論させていただきたい」との答弁がありました。もう 2 年以上が経ちますが、建築士会等との議論があったか伺う。 ②「開発行為に関する事前協議」とは読谷村では敷地面積 500 m²以上、3000 m²未満の開発行為を行う場合、計画段階において事前の総合的な調整が必要となる。この事前協議の件については村の条例や運用が分かりづらいとの指摘がある。「敷地」とは一般的に建物が建っている土地か、もしくはこれから建物が建てられる予定の土地か。建物が建っていない土地、もしくは建物が建てられる予定のない土地は「敷地」か答弁を求める ③ 開発行為の運用について「開発が行われる敷地面積」かどうかを問わず、500 m²を超える土地が隣接している場合一律に事前協議の対象となる場合があるか。具体的にどのような場合に申請の対象と

		なりどのような場合対象とならないのか。700 m²の土地を 300 m²と 400 m²に分筆して 400 m²だけを開発する場合を想定して答弁を求めます。 ④ 元々の土地 A、開発する土地 B 区画は 500 m²未満であるが、村条例の適用については分筆前の土地の面積を基準とし「一団の土地」の面積に基づき判定している。B 区画は元々土地 A であった、B 区画が 500 m²未満である事のみをもって判断せず、両土地を「一団の土地」と看做し、申請に当たっては村条例に基づき開発許可を擁するとのことである。「一団の土地」の定義は何か伺う。 ⑤ 国土交通省の定めた「開発許可制度運用指針」では「開発許可の審査は、その運用に当たり開発申請者に必要以上の負担を求めることがないように十分配慮すべきであり、審査基準の明確化を行い開発許可手続きの迅速化、簡素化に努めることが必要であり、審査基準をあらかじめ公表するなど開発許可制度の公平性、透明性を高める必要がある。」とある。見解を求める。 2. ユンタンザパークゴルフ場について ①現時点でのパークゴルフ場の運用状況、入場者数を伺う。 ②ゴルフをより簡単にしたパークゴルフ、老若男女が遊び心で楽しめるスポーツ、今では愛好者が 100 万人をこえたといわれています。ユンタンザパークゴルフ大会の計画はあるか伺う。 ③パークゴルフ大会の誘致にはあと 18 ホールの増設は必要だと考える。ホール増設計画はあるか、その計画内容は伺う。 3. 読谷村景観計画について、施工 10 年が過ぎた現在、将来に向けた課題等があるか。見直しの必要性はないか伺う
4	津波古 菊江	1. 読谷村民の望む診療所の在り方と目指すもの 昭和 53 年に開設された村診療所は健康福祉の分野で村民に大きく貢献しました。然し日本一人口の多い村も高齢化社会が進み国の政策等で診療所の在り方が問われている、診療所の現状と村民アンケートから目指す地域医療について伺う。 2. 特定健診、経年受診者へのインセンティブ実施で受診率の向上を ①特定健診受診状況を伺う（H27 年度～H31 年度まで）。 ②経年受診者へのインセンティブの実施は可能ですか。 ③特定健診指導で献立表（お手本）配布は出来ないか。 ④ナイト健診の受診状況は。 3. 座喜味城跡ライトアップ 2019 石城壁に光のダンス昼とは全く違った幻想的な雰囲気夜で夜の観光スポットとして定着しましたが季節的に寒い日が多い屋外トイレ

		の整備と期間内の入場者数について伺う。
5	城 間 勇	1. 南部地区幹線道路について ①南部地区幹線道路の整備の目的、効果等について。 ②（仮称）比謝横断線の概要起点、終点、幅員、延長について。 ③比謝横断線の進捗状況と今後のタイムスケジュールについて。 ④比謝横断線の建設に向けての課題は何か。 ⑤（仮称）伊良皆～大湾線の概要起点、終点、幅員、延長について。 2. 甘しょの基腐れ病の発生状況と対策等について。 ①県内で基腐れ病が発生している産地は。 ②栽培時の芋への収穫量等への影響は。 ③どのような対策方法があるのか。読谷村の対策方法は。 ④紅イモ振興事業の今後の課題は。 3. 国道読谷道路、村道の除草対策等について ①国道読谷道路（古堅～大木線）雑草が繁茂している、環境美化や観光振興のめんからも除草が必要。植栽柵のほうは防草シート設置を南部国道事務所に要請したら。 ②村道古堅～渡具知線の歩道に雑草が繁茂している。歩道沿いの遊休農地から雑草が歩道にはみ出している。耕作者や地権者の方々に除草の指導が出来ないか。 ③村道古堅～渡具知線は児童生徒の通学路でもある。

令和元年 第494回読谷村議会 定例会一般質問

令和2年3月18日（水）

順序	質問者	質問事項
6	大城 行治	1. 令和2年度施政方針に、今後は、本村の地域力を高める地方創生への取り組みが大切であると考えている。そのためにも、「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」を策定するとあります。その取り組みについて。 (1) 「まち・ひと・しごと・創生総合戦略は」2015年から2019年の5か年間第1期として策定されております。その目的、現状はどのようになっていますか。 (2) 読谷村の策定する「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」は第2期にあたるわけではありますが、国の言う方向性、基本目的を伺います。 (3) ユンタンザンチュの精神を大切に、活性化を目指すための策定と理解します。2020年から2024年の5か年という長期ビジョンであります。年度に分けての大まかな考え方・方向性を伺います。 2. 給与費について (1) 前年度と比較して、職員数が229人から600名・給与費が報酬0から378,794千円・給料が846,241千円から991,010千円、その他職員手当、共済費も含むと670,629千円の増となっております。その説明を求めます。 (2) 予算書の中で非常勤職員報酬（会計年度任用職員）と非常勤職員給料（会計年度任用職委員）とあります。非常勤職員報酬と非常勤職員給料対象者のそれぞれの人数、各課の人数と割合を伺います。 3. 読谷食堂ゆいまーるについて (1) 昨年6月に「読谷食堂ゆいまーる」の閉鎖の報告を受けました。読谷村共同販売センター経営委員会を設置し今後の方向性を示すとのことでしたが、その進捗状況と現状を伺います。
7	上地 利枝子	1. 2月25日トリイ通信施設の西約1.3kmの海上に在沖米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリコプターが鉄製の物体を落下させ原因究明しないままつり下げ訓練を行っていることについて、村民の生命と財産を守る立場である村長としてこれまでとは違う抗議行動が必要だと思います、村長の見解を伺う。 2. 本村の特産品について ①本村の特産品を役場ロビーに展示する考えはないか。

		②自治会館内に各市町村の特産品コーナーの展示物について、読谷村の特産品展示をもっと多く紹介してほしい。担当課としてどのように考えますか。 3. 大人のひきこもりについて ①ひきこもりの定義とは。 ②若者のひきこもり（15才～39才）の推計と現状。 ③中高年のひきこもり（40才～64才）の推計と現状。 ④行政としての対応 ㊦生活困窮者の自立支援。 ㊧就労支援 ㊨家庭支援 ㊩学齢期に起こる不登校との関係性について。 4. 「子どもの貧困対策支援事業」について ①現在行っている事業内容。 ②対象者は何名いて、対応出来ているのは何名なのか。 ③家庭支援についてはどのように行っているか。 ④事業の成果と課題。
8	長 濱 宗 則	1. 会計年度任用職員について ①各課の非常勤職員数と臨時的任用職員数を問う。 ②非常勤職員と臨時的任用職員の全体の報酬、給料を問う。 ③非常勤職員と臨時的任用職員の期末手当の総額を問う。 ④非常勤職員と臨時的任用職員の勤務時間体制を問う。 ⑤非常勤職員と臨時的任用職員の共済費の内容を問う。 ⑥前年度の臨時、嘱託職員との比較で増額は。 2. 読谷村の防災計画から ①大規模災害やパンデミックが発生した際の読谷村の対策は。 ②読谷村における災害協定の現状は。 ③自治会の防犯組織の現状は。 3. ふるさと納税から ①令和1年度12月末の寄付額と基金残高は。 ②指定寄付項目別金額と返礼品の内容は。 ③寄付額の30%以下での地場産品で寄付増加は見込めるか。 ④寄付金の用途を自治会の要望等に取り組むことはできないか。 4. 読谷村の6次産業化から ①これまでの具体的な取り組みを問う。 ②6次産業で読谷村の地域活性化は図られたか。 ③読谷村6次産業化の課題をどう認識しているか。 5. 読谷村ドーム建設から

		①これからの事業計画を伺う。 ②規模、建設場所、財源は。 ③P F I 方式の導入は考えていないか。
9	松田 正彦	1. 読谷村住宅防音工事等について ①住宅防音事業とは ②住宅防音及び移転補償等の対象区域は ③W E C P N L の説明を ④補助金交付が受けられる住宅とは ⑤工事内容は ⑥事務手続きの流れは 2. 今後の沖縄振興特別推進交付金を問う ①令和 2 年度交付金、県・村、配分額は、調整額は ②交付金期間は何年で終了か ③廃止された場合村内事業実施はどうか ④単費に振り替えても実施する事業があるか
10	神谷 嘉栄	1. 新型コロナウイルス感染症対策と影響について ①本村において、これまでにどのような未然防止策をとってきたか伺う。 ②2 月 27 日政府より新型コロナウイルスによる感染拡大防止に向け、全国の小中高校、特別支援学校を 3 月 2 日から臨時休校にするようとの要望があった。そして、その翌日には本村でも小中学校共に 3 月 4 日から 19 日まで休校とする旨の報告を受けたが、教育委員会へ混乱の声は寄せられていないか。 ③観光業やそれに関連した業種への影響を伺う。 2. 令和元年度読谷村行政懇談会について ①去った 1 月 14 日から 30 日にかけて行政区毎に開催されたが、参加総数と質問総数を伺う。 ②①で出された質問（意見や要望）の全容はどのようにまとめ（集約）られ、またその集約内容について村民へどう周知を図るのか。 ③行政懇談会に集約された事項で、今後政策的に反映される事業もあるか。 ④「行政懇談会は、村民に村の現状や取り組み等に理解を深めてもらい、課題を共有するとともに、村民の御意見をお聴きして村政運営に反映させること」の旨を目的に開催していると提供資料の中にあったが、そのためには 5 年ごと開催のスパンは長くないか。 3. 豚熱（C S F，豚コレラ）について ①県内での発生当初から現在まで、一連の経緯の概要を伺う。

		②本村職員のどのような協力体制があったのか伺う。 ③県がワクチン接種を開始するらしいのだが、いつからどれだけの期間、どのような方法で行なわれるか。 4. 放課後児童クラブ（学童クラブ）について ①令和2年度に開始予定の喜名学童クラブの職員体制を伺う。 ②公設の学童クラブ設置において場所を含めた今後の計画を順次伺う。 ③民間（民設民営）の運営に対する助成等の支援はどのように考えるか伺う。 5. 交通安全と道路事情について ①瀬名波駐在所前横断歩道付近の支柱上に、横断歩道があることを示している標識が、高志保方面の南側向けにはあるのだが、残波方面の北側向けには見受けられない。本来両方向にあってもいいと思われるが、関係機関へ要請できないか。 ②昨年7月に開催された第12回村民との意見交換会及び議会報告会にて「子どもたちの安全・安心の見地から、読谷道路の県道12号線からファーマーズマーケット間の草木が茂り児童生徒の登下校時の安全面を危惧している。適切な管理をお願いしたい」ということに対して「管理は国ですが、村からも適切な維持管理（南部国道事務所）を行うよう問い合わせます」との回答であった。その後の経過説明を求める。
--	--	---

令和2年3月19日（木）

順序	質問者	質問事項
11	山城 正輝	1. 豚熱（コレラ）被害の救済について ①豚熱の感染状況を現在時点でどう考えるか、そして見通しはどうか。 ②出荷ができなかった等、村内農家の被害状況は、どうなっているか。 ③国県との損失補償の話し合いはどうなっているか。 2. 座喜味地内県道12号線通行止工事被害救済について ①現在までの工事進捗はどうか。 ②4月1日からの片面通行は朝8時から午後5時までというがなぜか。 ③正常な対面通交が実現するのはいつか。 ④地域業者の売上げダウンはいくらと考えているか。 ⑤損失補償をすべきと考えるがどうか。 3. 新型コロナウイルス対策について ①村内での感染状況はどうなっているか。 ②村としての対策はどうなっているか。 ③村内各種団体の活動への影響はどうなっているか。 4. 難聴器用ループを設置すべきことについて（ヒアリングループ） ①難聴者の難聴器を補助するというヒアリングループとはどういうものか。 ②村内にも設置されているか。 ③鳳ホール、福祉センター等に早急に設置すべきと考えるがどうか。 5. 番所跡道の駅駐車場の円滑利用について ①これまでも度々指摘されてきたがどのように対応してきたか。 ②現在の駐車状況をどうみているか。 ③とりあえず長期駐車状況から解消してみてもどうか。 6. 読谷道路、陸上競技場入口トンブロック撤去について。 ①1月20日の東1区行政懇談会で通行禁止になっているトンブロックを撤去すると答弁していましたが。待望の開通で耳を疑いましたが大変喜ばしいことである。 ②いつどういう形で開通するのか。 7. 座喜味喜名田原内排水路（座喜味 2278-2 番地又吉氏宅）清掃すべきことについて

		①いつ現場を確認したか。 ②どういう状況だったか。 ③どういう対策を考えているか。
12	仲 眞 朝 雄	1. 村内のお墓の動向等について ①公営墓地の整備に向けた調査の内容はどのようなものか。 ②基本計画の見直しなどもあるか。 2. 全国一斉の臨時休校要請を受け、本村の小中7校の休校となった ①要請から、休校が決まるまでの決定プロセスと、議論の中身を問う。 ②学校現場へはどう知らされたか、現場の反応はどうであったか。 ③PTAはどう反応しているか。 ④休校を実施してみて、学校現場、PTA、地域での課題はあるか。 ⑤今後、総括されるか。
13	伊 佐 眞 武	1. ロードパーク構想について ①本構想が最初に位置づけられたのはいつか。 ②本構想の基本的な考え方はどういったことか。 ③現在のロードパーク整備計画の中身はどのような内容になっているのか。また整備予定時期はいつ頃か。 2. 赤犬子展望広場について ①赤犬子展望広場の基本的な考え方はどういったことか。 ②本計画の中で夜間もオープンする施設の設置は可能か否か。 3. 大木地区土地区画区域内を通る国道部分について ①土地区画区域内の国道部分の進捗状況はどうなっているのか。 ②現状の道路構造は県道6号線から南側は側道が予定されており、国道と接続する計画になっていますが、北側には側道の設置計画はありません。そこで地域交通の利便性をより高めるために県道6号線から北側にも国道と接続する側道を設置するよう読谷村から国に要請してはどうか伺います。 4. よみたん夜あかり琉球ランタンフェスティバルについて ①現時点での入場者数は何名か。また前回、前々回の入場者数は何名だったか。 ②毎年、冬場を開催する理由はどういったことからか。 ③スタンプラリーの実績はどうだったか。 ④会場内の空間をより広く感じさせるように樹木にもライトを点灯してはどうか。 ⑤高齢者や障がい者も来場しやすいようにスロープの設置も検討出来ないか。

14	當 間 良 史	1. ネーミングライツサポーター事業について ①ネーミングライツサポーター事業の内容と契約内容を問う ②今後の村内施設での展開をどう考えているか ③昨年のキャンプにおいて一時ネーミングライツサポーターの名前が意図的に消されるという事案があったと聞くが説明を求む 2. 陸上競技場に記録盤（コースレコード表記）を設置しては ①読谷村陸上競技場が建設されてから、村陸上競技大会においてどれだけの新記録が出ているか ②それらの記録を後世に残していくために記録盤を設置しては 3. 防災システムについて ①本村の全国瞬時警報システム（Jアラート）の活用方法は ②有事の際のコミュニティーラジオとJアラートの連携は取られているか ③災害時に情報を得るために有効な防災ラジオについて本村の考えは 4. スケートパーク場建設について スケートパーク場建設の進捗状況は
15	山 内 政 徳	1. 多胎児に対する取り組みは ①本村で何か多胎児に対する政策を実施しているか。 ②他市町村ではあるか。 ③何か検討している政策はあるか。 2. 災害時等の避難場所になる、体育館にクーラーの設置の必要ないか（少なくとも一か所くらい） 3. 村道比謝横断線の進捗状況は。 4. 外灯・防犯灯について、今回実施されるLEDによる経費の削減は、どれくらいか（電気代等） 5. 無料塾の現在の状況どうなっているのか。 6. GIGAスクール構想事業について内容を伺う。

令和2年3月23日(月)

順序	質問者	質問事項
16	城間 真弓	1. 誰もが安心して子育てができる村づくりへ！本村の子育て支援政策と教育のあり方を問う ①新年度を迎えるにあたり、村長の掲げる子育て支援政策や教育において最も重視している点や、未来を担う村の子ども達を育ていく立場としての方針とは。 ②新年度に向け、今現在把握している公立保育所、認可園の待機児童の現状とその年齢層は。 ③「幼児教育・保育無償化」に伴い、前年度との保育園や幼稚園の申し込み状況に変化等はあったか、また「無償化」となり運営する中で、新たな課題や懸念される点などはあるか。 ④保育所や幼稚園へのニーズが高まる中で、子ども達が安全・安心な環境のもと、質の高い保育や教育が受けられるような職員体制は十分か（保育所、幼稚園の職員確保について）。 ⑤村内における保育所や保育園に通うこども達が、一貫した質の高い保育をめざす「保育のガイドライン」策定の必要性を、平成30年の9月議会の一般質問にて求めてきたが、その進捗状況とは。 ⑥発達支援に関し、本村の現状において、手続きや書類等の不手際や障がいに関しての認識不足、一貫しない情報と対応など、村民の皆さんから何度も相談を受けた。発達支援を支える保健・福祉・教育・医療の連携と強化と今後の対策とは。 ⑦出生届けは出されているが、乳児検診や就学児検診も受診せず、保育サービスも利用していない子ども達の数。 ⑧不登校に対する本村の現状と課題、また早期発見と対策とは。 ⑨フィンランドのネウボラ、日本でいう「子育て世代包括支援」が目指す未来「教育と福祉」の連携について、フィンランドは日本のような対症療法ではなく「ウエルビーイング」を重視しているとある。「ウエルビーイング」の説明を求める。 2. 「社会」「環境」「経済」に本気に取り組むSDGsNo.1の村へ！ ①SDGsとは？国連総会で採択された経緯と、その達成すべき目標とは ②日本政府が都道府県、市区町村に求めるSDGs達成に向けた取り組みにおいて、2024年度目標は60%を掲げている、今現在本村で行なわれているSDGsに関連する具体的な取り組みとは。 ③SDGsの17目標のうち、目標1の「貧困根絶」、目標5の「ジェンダー平等」、目標7の「クリーンエネルギー」、目標13の「気候変動への対策」、目標16「平和と公正をすべての人に」の5つの目標を早急に対応すべき課題として提案したい。この目標に対しての本村の現状と、今後の方針とは。

		3. なくそう！雇用格差！新年度から始まる会計年度任用職員の実態と事業運営について。 ①新年度の正規職員の数と臨時、嘱託職員の数とその割合は。 ②本年度と比較し、新年度の臨時、嘱託職員の人数の増減は。 ③会計年度任用職員制度に当てられる総予算は、その中で国の補助金等はあったのか。 ④部署や勤務年数によって、これまでの報酬よりも減額となった臨時、嘱託職員はいないか。 ⑤各部署において、しっかりと議論し、職員が納得した形で会計年度任用職員制度がスタートできる状態といえるか。
17	松田昌邦	1. 村長の施政方針より 地域の更なる活性化の取り組みとして「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定をするとあるが、その内容と目標年度はあるのか。また、総合戦略により地域力を高める取り組みにつながるとは既存の自治会を柱に置いているのか。 小中学校における ICT を活用した教育を推進するとあるが開始時期と教育の内容はどのようなものか。 推進に当たり家庭の経済力による格差が生じないか危惧するがその対応は如何に 村民ニーズに対応するため職員を育成とあるが各自治会への派遣研修（数カ月単位）の実施はできないか。 2. 少子高齢化と人口減少問題について 全国的にわが国は少子・高齢・人口減少が急速に進行している現状にあるが本村における過去 3 ヶ年間の出生児の推移と高齢化率、今後の村人口のピークはいつか 特に 2019 年の全国の出生数が 87 万人割れをしているが本村としても少子化対策は急務と思われるがどのように考えているのか。 3. 読谷村教育振興基本計画（概要版 R 元年 7 月）より 学習到達度調査（2018 年 PISA）で日本の読解力の低下（高学年になるほど問題の理解力が問われる）が先進諸国において伸び悩んでいるといわれているが、子どもたちの国語教育の現状と課題は何か。 また昨今の「子どもの貧困」が大きく学校教育へ影響を及ぼしていると思うが見解を問う。 子ども達の成長過程において失敗を恐れず何事にもチャレンジできる社会の許容性が問われるが学校生活においても学年が高くなるにつれて現代社会の風潮が反映していることはないか。そのことが本計画

		に示されている「楽しい」学習の低下にも繋がっていないか。 9月定例会における令和元年度平均の部活加入率は67.6%の答弁があったが少子化による中学校部活動のあり方を考える上からも運動系や文化系を網羅した拠点施設建設（村営クラブハウス）を行いそこへ専門的な指導人材を配置し食育、生活習慣、何よりも個の能力を村全体で伸ばすべきと考えるが設置に向けて検討、研究を開始すべきと思うが如何に
18	與那覇 徳雄	1. 環境衛生について ①衛生害虫等駆除の事業内容を伺う。 ②衛生害虫等駆除の平成28年～30年度（3年間）実績を伺う。 ③危険生物駆除の事業内容を伺う。 ④危険生物駆除の平成28年～30年度（3年間）実績を伺う。 ⑤ハブ捕獲器の設置数及び巡回方法を伺う。 ⑥衛生害虫等駆除及び危険生物駆除の成果と課題を伺う。 2. 子ども子育て推進について ①これまでの保育士確保が十分できなかった要因を伺う。 ②保育士就労促進支援金の内容を伺う。 ③読谷村子ども・子育て支援事業計画（平成27年～31年度）の成果と課題を伺う。 ④子ども・子育て会議から、どのような答申がされたか伺う。 ⑤保育所・認可保育園の入所決定までの事務の流れを伺う。 3. 道の駅「喜名番所」の管理について ①駐車場に長らく放置された車両が見受けられるが対策は。 ②地域から管理等について苦情等はなかったか伺う。 ③駐車場周辺は、雑草等が伸び放題になっているが対策は。 ④年間の来館者数（3年間）実績を伺う。 4. 子どもの虐待・貧困について ①村内で子ども虐待と疑われた件数（3年間）を伺う。 ②子ども虐待の発生要因はどのようなものか。 ③子ども虐待の支援で意識しておくべきことは何か。 ④施政方針で、児童虐待の予防及び早期発見・早期対応に努めるとあるが具体的な施策を伺う。